

脆弱性対策情報データベース JVN iPedia の登録状況 [2015 年第 3 四半期 (7 月～9 月)]

～今四半期の Adobe Flash Player の登録は 95 件、本年累計は 190 件で、昨年 76 件の 2.5 倍～

IPA (独立行政法人情報処理推進機構、理事長：藤江 一正) セキュリティセンターは、2015 年第 3 四半期 (7 月～9 月) の脆弱性対策情報データベース「JVN iPedia」(ジェイブイエヌ アイ・ペディア) の登録状況を「脆弱性対策情報データベース JVN iPedia に関する活動報告レポート」としてまとめました。

<https://www.ipa.go.jp/security/vuln/report/JVNiPedia2015q3.html>

2015 年第 3 四半期に、脆弱性対策情報データベース「JVN iPedia (<http://jvndb.jvn.jp/>)」日本語版に登録された脆弱性対策情報は 1,761 件で、2007 年 4 月 25 日の公開開始からの登録件数は累計 56,475 件となりました。

Adobe Flash Player の登録は 95 件、本年累計は 190 件で昨年 76 件の 2.5 倍 (レポート 1-2. 参照)

ウェブサイト閲覧時は通常、対象コンテンツが存在する場合、Adobe Flash Player が自動的に実行されています。そのため、利用者は Adobe Flash Player の機能が使われていることを認識せずに、動画再生が可能で、それが攻撃に悪用される一因とも考えられます。今四半期の Adobe Flash Player の登録件数は 95 件で、今年は 3 期合計で既に 190 件あり、2014 年 1 年間の登録件数 76 件の 2.5 倍となっています。

また今四半期の 95 件のうち、深刻度の高い「レベル III (危険)」に分類されたものは 89.5%を占め、JVN iPedia 全体に占める「レベル III (危険)」の割合 40.1%に比べて倍以上となっています。

利用者は Adobe Flash Player を常に最新の状態で使用してください。また、Adobe Flash Player の機能が不要な場合にはブラウザ等の設定で無効化する、またはアンインストールするといった対策を取る必要があります。

自動車に関する脆弱性対策情報を JVN iPedia 上で初めて公開 (レポート 1-3. 参照)

2015 年 7 月に自動車を遠隔から操作できる脆弱性に関する情報^{(*)1}が公表され注目されました。JVN iPedia では、この脆弱性情報を他の脆弱性対策情報と同様に日本語に翻訳し、7 月に公開しました^{(*)2}。なお、本件は、JVN iPedia 上で公開した初の自動車に関する脆弱性対策情報です。自動車に限らず、今後は様々な機器において多様なサービス実現のためにソフトウェアを組み込む動きが進むことから、製品の利用者や管理者は、使用しているソフトウェア製品の脆弱性の有無に注意を払い、アップデート情報が公開された場合には、すぐに修正パッチを適用するなど、日々の脆弱性対策を漏れなく実施してください。

■ 本件に関するお問い合わせ先

IPA 技術本部 セキュリティセンター 齊藤／竹村

Tel : 03-5978-7527 Fax : 03-5978-7518 E-mail : vuln-inq@ipa.go.jp

■ 報道関係からのお問い合わせ先

IPA 戦略企画部広報グループ 横山／白石

Tel : 03-5978-7503 Fax : 03-5978-7510 E-mail : pr-inq@ipa.go.jp

(*)1 http://www.nikkei.com/article/DGXLASGM25H19_V20C15A7MM0000/

タイトル「クライスラー、ハッキング対策で 140 万台リコール」

(*)2 <http://jvndb.jvn.jp/ja/contents/2015/JVNDDB-2015-003899.html>

タイトル「Fiat Chrysler Automobiles で使用される Uconnect における車両移動を制御される脆弱性」